



株式会社アルファシステム 社屋

- 本社所在地：愛知県安城市
東町荒井25番地
- 事業概要：システム開発・導入支援 /
施設・住宅の保守・保全・
清掃 / リフォーム 等
- 常時使用する従業員：150名
(2025年12月時点)
- 現在の売上高：10.5億円
(2025年12月期)
- 法人番号：7180301012612
- Web：https://alpha-sys.co.jp

企業理念・100億宣言に向けた経営者メッセージ



代表取締役
竹内 稜人

地域に「挑戦と産業」を生む企業へ

私たちは地域に新たな挑戦と産業を生み出し続ける存在への進化を目指します。変化が常態化する時代において、企業に求められるのは、単なる対応力ではなく、未来を構想し、自ら設計し、実行し切る力です。DX事業では、受託にとどまらず、自ら価値を創出するプロダクト企業へと進化します。STATION Aiとの連携を通じて地域発スタートアップを育み、挑戦する人材とともに新しい事業を生み出します。技術は手段に過ぎません。本質は、課題を構造から捉え、仕組みで解決し、再現性のある価値へ昇華させることにあります。環境事業では、業界再編の波を機会と捉え、M&Aを通じた持続可能な運営モデルを確立します。システム制御と業務標準化により生産性を高め、働く人が誇りを持つ産業へ再構築します。また、次世代農業支援や地域商社機能を通じて、技術と産品を全国へ届け、地域の可能性を高める一助となるよう努めてまいります。行政や金融機関、専門家と力を合わせ、地域全体の挑戦を支えるプラットフォームを構築し、多様な地域への水平展開を目指します。

売上高100億円実現の目標と課題

実現目標

当社は2036年に売上高100億円企業への成長を実現する。DX事業においては、受託型モデルから自社プロダクト・SaaS・スタートアップ創出型モデルへと進化し、STATION Aiとの連携を軸に地域発スタートアップを継続的に創出する。環境事業では、後継者不在が進む清掃・管理分野でM&AとPMIを推進し、ITによる高効率運営モデルを確立する。さらに次世代農業支援および地域商社機能を新たな収益柱とし、地域産業を牽引する持続的成長企業へと飛躍する。

課題

2036年に売上高100億円を実現するためには、単なる事業拡大ではなく、経営構造そのものの進化が不可欠である。既存モデルの延長線上では到達困難であり、収益構造・組織体制・資本戦略の再設計が求められる。

- ① DX事業の月依存体質からの脱却とストック収益比率の向上
- ② スタートアップ創出を持続可能にする事業開発・投資体制の確立
- ③ 環境事業におけるM&A実行力およびPMI標準化の構築
- ④ 複数事業を束ねる経営管理体制の高度化
- ⑤ 成長投資を支える財務基盤強化と経営人材の育成

売上高100億円実現に向けた具体的措置

目指す成長手段

売上高100億円の実現に向けては、既存事業の延長ではなく、複数の成長エンジンを同時に駆動させる戦略が必要である。当社はDXを中核に据えつつ、M&A、資本参加、新規市場開拓を組み合わせ、収益構造を多層化することで加速度的な成長を目指す。具体的な成長手段は以下の通りである。

- ① DX事業を受託中心から自社プロダクト・SaaS型転換し、ストック収益拡大
- ② STATION Aiとの連携により地域発スタートアップを創出・技術参画を図る
- ③ 環境事業における後継者不在企業を対象としたM&Aの推進、収益性を改善
- ④ 自社のシステム制御技術を活用した業務効率・利益率向上
- ⑤ 次世代農業分野へのIoT・制御技術展開による、高付加価値事業の確立
- ⑥ ネットワークを活用した地域商社機能の構築による、技術・産品の全国展開

実施体制

100億円構想を確実に実行するためには、社内体制の高度化と地域連携の強化を両輪とする実行基盤の確立が不可欠である。当社は事業別責任体制を明確化するとともに、外部専門機関との連携により実行力を高める。

- ・DX事業ではプロダクト開発部門と事業開発部門を分離し、スタートアップ創出専任チームを設置
- ・環境事業ではM&A推進機能を整備し、DD・PMI・IT統合を標準化
- ・農業分野・地域商社機能に専任責任者を配置し、事業化スピードを確保
- ・経営企画機能を強化し、KPI管理を徹底
- ・地元行政との連携により地域産業振興施策との連携強化
- ・金融機関との協働を通じた資金調達・M&A情報・取引先開拓推進
- ・中小企業診断士等の専門家との連携による、事業計画策定、PMI支援

※本宣言は企業自身はその責任において売上高100億円を目指して、自社の取組を進める旨を宣言するものです